

- 問1 宮城県の県庁所在地である仙台市のように、都道府県名と県庁所在地の都市名が異なる自治体があります。これと同じ条件にあてはまる「県名と県庁所在地名」の正しい組み合わせを選びなさい。 (2017年 鳥取県公立入試 類似)
1. 新潟県 — 新潟市 2. 青森県 — 青森市 3. 香川県 — 高松市 4. 佐賀県 — 佐賀市
- 問2 東京都を起点として北上し、埼玉県、茨城県、栃木県を通過した後、宮城県、岩手県を経て青森県へと至る、日本で最も長い距離を持つ国道があります。この国道のルートにおいて、栃木県と宮城県の間に位置し、東北地方の南の玄関口となっている県名を答えなさい。 (2022年 京都府公立入試 類似)
1. 新潟県 2. 山形県 3. 福島県 4. 秋田県
- 問3 東北地方の伝統行事に関する記述として、開催される県名とその内容が正しく組み合わせられているものはどれか。 (2019年 富山県公立入試 類似)
1. 宮城県 — 巨大な木造の山車をぶつけ合い、神への感謝を捧げる「ねぶた祭」が行われる。 2. 秋田県 — 提灯を米俵に見立てた竹竿を操り、五穀豊穡を祈る「竿燈まつり」が行われる。 3. 青森県 — 豪華絢爛な飾りを吊るした竹を街中に立て、商売繁盛を祈る「七夕まつり」が行われる。 4. 岩手県 — 提灯を灯した船を川に浮かべ、先祖の霊を送り出す「なまはげ」が行われる。
- 問4 宮城県仙台市宮城野区における、1998年と2025年の状況を記録した資料を比較した際、この地域の土地利用の変化について説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2026年 群馬県公立入試 類似)
1. かつて大規模な建物が立ち並んでいた中野五丁目付近では、自然環境を保護するために広大な田畑へと土地利用が変化した。 2. 仙台市宮城野区全体において、急速な過疎化の影響で住宅地が激減し、かつての森林や山林が復元される変化が見られた。 3. かつて集落や田畑が広がっていた中野五丁目付近では、都市再開発や震災復興によって大規模な建物へと土地利用が変化した。 4. 港二丁目付近では、1998年時点で存在していた工場が、2025年には神社を中心とした伝統的な集落へと変化した。
- 問5 日本海側を流れる河川の月別平均流量を調査したところ、九月から十月にかけて流量が増える河川がある一方で、別の河川では四月の流量が一立方メートルを超え、冬場と比較して突出して多いという特徴が見られました。この、四月に流量が最大となる理由として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2017年 兵庫県公立入試 類似)
1. 春に発生する急速に発達した低気圧により、海から大量の海水が河川へ逆流するため 2. 梅雨前線が北上し、東北地方の日本海側で長期間の激しい降雨が続く時期にあたるため 3. シベリア高気圧から吹き出す北西の季節風が、四月の日本海側に大量の雨をもたらすため 4. 冬の間に降り積もった大量の雪が、春の気温上昇によって解けて河川に流れ込むため
- 問6 津軽塗や天童将棋駒のように、東北地方の各地で古くから伝統的工芸品の生産が発達してきた背景には、この地域の気候条件が大きく関係しています。その理由として最も適切なものはどれですか。 (2024年 青森県公立入試 類似)
1. 一年を通して温暖な気候であり、原材料となる植物の栽培が容易だったから 2. 雪が多く冬の間は農作業ができないため、屋内でできる副業として行われたから 3. 夏期に雨が少なく農作業ができないため、代わりの産業として行われたから 4. 急速な工業化が進み、大規模な工場で製品を大量生産することが可能になったから
- 問7 秋田県の伝統文化や観光資源に関する記述として、最も適切な内容を選びなさい。 (2016年 三重県公立入試 類似)
1. 竿燈まつりでは、七夕の時期に合わせて豪華な七夕飾りを吊るした竹竿を街中で振り回す。 2. 角館の武家屋敷は、明治時代の文明開化によって急速に整備された洋風の建築物群として知られている。 3. 秋田県内で伝統的に受け継がれてきた武家屋敷の景観は、主に奥州藤原氏の時代に築かれたものである。 4. 国の重要無形民俗文化財に指定されている竿燈まつりは、五穀豊穡を願う行事としての側面を持っている。
- 問8 東北地方の山形県内を流れ、その下流地域に日本有数の穀倉地帯である庄内平野を形成している河川として、正しいものを選択してください。 (2023年 徳島県公立入試 類似)
1. 最上川 2. 阿武隈川 3. 雄物川 4. 北上川
- 問9 東北地方の工業の特色を説明した資料において、半導体などの電子部品を製造する工場が、高速道路のインターチェンジ付近や沿線に集中して分布している様子が見られます。このような立地傾向が見られる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 三重県公立入試 類似)
1. 半導体の製造には広大な敷地が必要であり、地価の高い県庁所在地を避けて高速道路沿いの広大な農地を転用したから 2. 半導体は小型・軽量で付加価値が高いため、トラックを利用した高速道路による迅速な輸送に適しているから 3. 半導体の製造には大量の輸入資源が必要のため、高速道路を通じて大規模な港湾から直接原料を運ぶ必要があるから 4. 半導体工場は騒音や振動が激しいため、住民の少ない高速道路沿いや山間部に限定して建設が許可されているから
- 問10 日本海を南から北へ流れる暖流である「対馬海流」が、東北地方などの日本海側の気候に与える影響を説明したものとして、最も適切なものを選択肢から選びなさい。 (2022年 香川県公立入試 類似)
1. 周辺の海水温を下げる働きがあるため、夏でも沿岸地域の気温が上がりにくく、涼やかな気候を保つ要因となる。 2. 夏に吹く冷たく湿った北東風（やませ）の勢力を弱めることで、東北地方全体の気温を上昇させ、猛暑の原因となる。 3. 冬に吹く北西の季節風がこの海流の上を通る際、水蒸気を多く取り込むことで、日本海側の地域に大雪をもたらす要因となる。 4. 北からの栄養豊富な海水を運ぶことで、冬の時期の日本海側における季節風を弱め、積雪量を抑える役割を果たしている。
- 問11 青森県の産業構造について述べた文として、統計データの「第1次産業の就業者割合が13.2%」「漁業生産量が約17万トン」という数値の背景を最も適切に説明しているものはどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
1. 冷涼な気候を活かしたリンゴ栽培などの果樹農業や、三方を海に囲まれた地理的条件を活かした水産業が地域経済の基盤となっている。 2. 広大な土地を活かした大規模な畑作や酪農が中心であり、漁業生産量よりも農業出荷額の規模が全国で圧倒的な首位にある。 3. 太平洋側に位置する工業地域の一部として、輸送用機械などの製造業が発達しており、第2次産業が就業人口の大部分を占めている。 4. 人口密度が非常に高く、県庁所在地へのサービス業や商業の集中が進んでいるため、第3次産業の割合が周辺の県に比べて突出している。
- 問12 初夏から夏にかけて、東北地方の太平洋側沿岸部から内陸部に向かって、オホーツク海から冷たい風が継続して吹き込む気象条件が続いた場合、現地の農業に与える影響として最も適切な説明はどれですか。 (2024年 新潟県公立入試 類似)
1. 日照時間が不足し、冷涼な気候によって稲の生長が妨げられる冷害が発生する。 2. 気温が大幅に上昇し、乾燥した風によって農作物の水分が奪われる。 3. 山脈を越えて乾いた風が吹き降ることによって、日本海側で干ばつの被害が広がる。 4. 暖かい湿った空気が供給されることで、熱帯夜が続き農作物の品質が向上する。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 香川県 ― 高松市	宮城県 宮城県の県庁所在地が仙台市であるように、香川県の県庁所在地は高松市であり、県名と都市名が異なります。一方、新潟県、佐賀県、青森県は、いずれも県名と県庁所在地名が同一の名称となっています。中学地理では、このように名称が異なる県庁所在地を正確に把握しておくことが重要です。
問2	答え 3 福島県	福島県 福島県は東北地方の最も南に位置しており、関東地方と東北地方を結ぶ交通の要所となっています。日本一の長さを誇る国道4号は、栃木県から福島県に入り、その後宮城県、岩手県を経て終点の青森県へと続きます。山形県や秋田県は東北地方の日本海側に位置しており、国道4号のルートからは外れます。
問3	答え 2 秋田県 ― 提灯を米俵に見立てた竹竿を操り、五穀豊穡を祈る「竿燈まつり」が行われる。	秋田県 秋田県で開催される竿燈まつりは、提灯を米俵、竹竿を稲穂に見立てるのが特徴で、五穀豊穡を願う行事です。青森県は「ねぶた祭」、宮城県は「仙台七夕まつり」が有名です。また、「なまはげ」は秋田県の男鹿半島に伝わる伝統行事であり、これらを混同しないように注意が必要です。
問4	答え 3 かつて集落や田畑が広がっていた中野五丁目付近では、都市再開発や震災復興によって大規模な建物へと土地利用が変化した。	宮城県 複数の年次の地形図を比較すると、その地域の景観や土地の使われ方（土地利用）がどのように変化したかを読み取ることができます。仙台市宮城野区の事例では、1998年時点では農業や小規模な居住が中心であった場所が、2020年代には東日本大震災からの復興や都市再開発を経て、商業施設や物流拠点などの大規模な建物へと変化している様子が記録されています。選択肢にある「住宅地の激減」や「工場から伝統的集落への変化」は、実際の土地利用の変化の傾向とは異なります。
問5	答え 4 冬の間に降り積もった大量の雪が、春の気温上昇によって解けて河川に流れ込むため	日本海側 日本海側の地域は、冬の季節風の影響で世界有数の豪雪地帯となります。冬の間に山地などに降り積もった雪は、春の訪れとともに気温が上がると解け出し、河川へと流れ込みます。この「融雪」と呼ばれる現象により、日本海側の河川では四月頃の流量が一年の中で最も多くなるという特徴があります。これに対し、太平洋側の河川などは九月から十月の台風の影響で流量が増える傾向にあります。
問6	答え 2 雪が多く冬の間は農作業ができないため、屋内でできる副業として行われたから	東北地方 東北地方などの日本海側は、冬に季節風の影響で雪が多く降る豪雪地帯が多く見られます。そのため、冬の期間は屋外での農作業ができない状態が続きます。農家の人々は貴重な現金収入を得るために、農閑期となる冬場に屋内で地元の資源を使った漆器や木工品などを作るようになり、これらが伝統的工芸品として各地に定着しました。
問7	答え 4 国の重要無形民俗文化財に指定されている竿燈まつりは、五穀豊穡を願う行事としての側面を持っている。	秋田県 秋田竿燈まつりは、真夏の病魔や邪気を払う「ねぶり流し」が起源とされ、竹竿を稲穂に、提灯を米俵に見立てて五穀豊穡を祈る、国の重要無形民俗文化財です。角館の武家屋敷群は江戸時代の武家文化を伝えるものであり、奥州藤原氏（岩手県平泉）や明治時代の洋風建築とは歴史的背景が異なります。
問8	答え 1 最上川	山形県 山形県を流れる最上川は、県内の盆地を潤しながら北上し、酒田市付近で日本海に注ぎます。その下流には、最上川が運んだ土砂によって形成された広大な沖積平野である庄内平野が広がっており、古くから大規模な稲作が行われてきました。一方、選択肢にある北上川は岩手県から宮城県へと流れる、東北地方で最も長い河川です。
問9	答え 2 半導体は小型・軽量で付加価値が高いため、トラックを利用した高速道路による迅速な輸送に適しているから	岩手県 半導体は「産業のコメ」とも呼ばれ、製品が小さく軽い一方で非常に価格が高い（付加価値が高い）という特徴があります。そのため、船や鉄道による大量輸送よりも、高速道路を利用したトラック輸送によって、必要な時に迅速に製品を運ぶことが重視されます。東北地方では東北自動車道などの高速道路網の整備に伴い、内陸部のインターチェンジ付近への工場進出が相次ぎました。
問10	答え 3 冬に吹く北西の季節風がこの海流の上を通る際、水蒸気を多く取り込むことで、日本海側の地域に大雪をもたらす要因となる。	対馬海流 暖流である対馬海流は、周囲の海水温を比較的高く保つ性質がある。冬になるとシベリア高気圧から冷たく乾燥した北西の季節風が吹き出す、この風が対馬海流の上を通過する際に大量の水蒸気を蓄える。その湿った空気が日本列島の山脈にぶつかることで、日本海側に世界的な多雪地帯を形成する原因となっている。
問11	答え 1 冷涼な気候を活かしたリンゴ栽培などの果樹農業や、三方を海に囲まれた地理的条件を活かした水産業が地域経済の基盤となっている。	青森県 青森県は三方を海（日本海、太平洋、津軽海峡）に囲まれており、暖流と寒流が交わる好漁場に近いことから漁業生産量が多くなっています。また、やませの影響を受ける冷涼な気候はリンゴ栽培に適しており、これらの第1次産業が盛んなことが、統計における就業者割合の高さに直結しています。静岡県のような工業出荷額の大きさや、北海道のような圧倒的な面積による生産規模とは異なる、東北地方特有の産業構造を理解することが重要です。
問12	答え 1 日照時間が不足し、冷涼な気候によって稲の生長が妨げられる冷害が発生する。	北海道 北東から吹き込む「やませ」は冷たく湿った性質を持っているため、この風が長期間吹き続けると太平洋側を中心に気温が上がらず、霧が発生して日照時間が減少します。特に稲の開花や結実の時期に重なると、収穫量が激減する「冷害」の原因となります。このため、東北地方では冷害に強い品種（ササニシキからひとめぼれ等への転換など）の改良が行われてきました。